



絆

学校便り No.5
令和5年7月20日
奄美市立住用中学校

『学び』で可能性の扉を開く住用中

厳しい夏を「強い気持ち」で乗り切れ！

校長 原 憲正

本日の終業式で1学期が終了しました。これから42日間の夏休みに入ります。梅雨明け後は熱中症警戒アラートが連日発表されており、どうやら今年は例年よりも暑く厳しい夏になりそうです。

生徒にとっても夏休みは厳しい時季でもあります。「学校が休みで自由に生活できる夏休みの一体どこが厳しいの？」と思われる方がほとんどでしょう。そう、「自由に生活できる」というところが、見方を変えれば大変厳しいものだからです。

学校がある日は規則正しく区切られた校時によって生活しています。夏休みはそれが一切なくなり、自由に使える時間が生活のほとんどになります。その時間の管理を自分ですることになる。これは自分を律する力が十分身に付いていない者にとっては、いとも簡単に締めりがなくだらしない生活に陥ってしまうきっかけとなることを意味しています。

ゲームやネットなど自分の好きなことに時間を費やして深夜まで起きていて、翌朝は昼近くまで寝てしまう。起きる時間が遅くなるから、今度はいつまでも眠くならず、また夜更かしして…と、昼夜逆転の生活に陥りやすいのが夏休みです。

人間本来の生活リズムではない昼夜逆転の生活に陥るとどうなるのでしょうか。

- ・ 日中にだるさが残り、自分の持つほとんどの能力が低下し、元気がなくなる
- ・ 体の免疫機能が低下し、体調を崩しやすくなる
- ・ イライラしたり逆に気分が落ち込んだりやる気が全くなかったりする

など、悪い影響しか出てこないことは、これまでのどの研究でもはっきりしています。

夏は元気が一番！ 涼しい午前中に課題に取り組んで、昼は外で思いっきり汗をかいて、ご飯をおいしく頂いて、静かな夜に読書をして、もちろん自分の好きな趣味の時間も楽しんで、そして明日に備えて早めに床に就く。

安易な方向に流されそうになる自分を強い気持ちで律し、心も体も強くなって2学期を迎える。そんな夏休みにしてほしいです。

水の事故に気をつけよう

梅雨が明けて、日差しの強い日が続きます。水遊びがとても気持ちいそうですね。今にも海や川に遊びに行きたい子どもたちも多いことでしょう。

ですが、昨年度の警察庁の発表によると、中学生以下の事故で最も多いのは河川での水遊びだそうです。

例年7月21日から8月31日の夏休み期間は「水難事故防止運動強調月間」となっております。おまな呼びかけをいくつか抜き書きしてみました。

- ・ 泳ぎ(水遊び)に行くときは保護者と一緒に行く。
- ・ 大人は携帯電話など連絡の取れるものを所持しておく。
- ・ テレビの気象情報などで、天気や風の強さ、波の高さを確かめる。
- ・ 魚釣りをするときは一人では行かない。
- ・ 磯釣りは、高波などに注意し、必ず救命胴衣を付ける。
- ・ 泳ぐときは一人では泳がない。

絶対に事故が起こらないように気をつけて、この奄美の自然をたっぷり味わえる夏にしましょう。

気分爽快！水泳学習

7月4日から水泳学習を実施しました。

水難事故防止にもつながる大切な学習ですが、暑くなるこの時期の水泳学習はとても気持ちが良いものです。

住用中の水泳学習は、東城小中学校のプールを借りて行います。住用支所の三浦さんが運転して下さる車に全員で乗って向かいます。

4回ある学習では毎時間各自の目標を決めて練習します。「25mを20秒切る」「50mを泳ぎ切る」「息継ぎなしでプールの半分まで行く」それぞれの目標に挑戦しました。

最後は自由な活動を楽しむ時間も取れました。この夏、安全に水を楽しんで、来年の夏の水泳学習をもっと楽しみにしてくれることを期待したいと思います。



県民の絆を育む「県民の日」

7月14日は「県民の日」です。県民の日に向けて、坂本教頭が「奄美群島復帰70周年」について話をしました。



奄美が日本と世界をつなぐ窓口で共に支え合ってきたこと。奄美の砂糖が明治維新を支え江戸時代を終わらせる原動力になったこと。明治以降の人やものの交流が絆を強め、戦後アメリカ軍政下におかれ、暴力に訴えない復帰運動を粘り強く続けて、再び一緒になることができたこと。

記念すべき今年、国体が鹿児島県にやってきます。奄美でも相撲が行われます。奄美の結いの心や自然の素晴らしさ、独自の文化が訪れる人の心に印象に残ることでしょう。市田くんが8月6日(日)に炬火リレーに住用中代表として参加します。他にものぼり旗作成やプランター育成など中学生にも貢献できる機会があるので積極的に取り組み、互いの絆を深め、自分の能力を伸ばす機会としてもらいたいと思います。

みんなに届け私の思い



7月8日(土)に校内弁論大会が開かれました。全校生徒7名が生徒全員や教職員、保護者の前に立ち、発表を行いました。

緊張して早口になってしまう生徒、これまでの経験を活かし笑顔で主張できる生徒と発表の様子はそれぞれでしたが、一人一人の挑戦がそれぞれにとってかけがえのない機会になったことと思います。

審査結果により最優秀賞が濱本紫音さんの「未来は変えられる」、準優秀賞が原心葉さんの「地球温暖化について知りたい」となりました。秋の市の発表会に向けて更に準備が進められます。

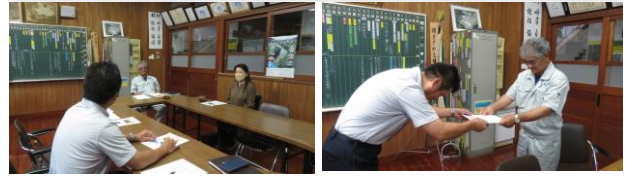
きれいな花が咲きますように

7月10日(月)、学校評議員の方やJAあまみ婦人部の方々によって、花壇の手入れを行っていただきました。またマリーゴールドやサルビアなどの花の苗も植えていただきました。

夏にぐんぐん育ち、2学期が始まる頃には学校がきれいな花で彩られることでしょう。



学校を見守る心強い目



7月7日(木)に本年度1回目の学校評議員会を行いました。委員会では委嘱状の交付、本年度の学校経営についての説明を行い、「学力向上の取り組み」や「特色ある教育」について御意見をいただきました。

本年度地域を代表して住用中学校の教育を見守っていただく令和5年度の学校評議委員は、松中洋一さん 山下 廣明さん 河野 幸代さん 満 香恵子さんの4名です。よろしくお願いします。

「奄美群島復帰70周年記念」第41回保小中合同運動会について

住用中学校、住用小学校、住用へき地保育所は、9月10日(日)に「奄美群島復帰70周年記念」第41回保小中合同運動会の開催を予定しています。新型コロナ対策による午前中開催から5年ぶりの全日開催を予定しています。地域の方の参加による一般種目も予定して計画や準備がスタートしています。8月末に地域にプログラムの配布も行いますので、当日ぜひ御来場ください。

8・9月の主な行事

- 8/ 1 (火) 出校日
小中合同運動会 P T A 打合せ
- 8/21 (月) 出校日
- 8/27 (日) P T A 奉仕作業
(住用町グラウンド 6:30~)
- 9/ 1 (金) 始業式
いじめ問題を考える週間 (~7日)
- 9/ 7 (木) 運動会予行
- 9/10 (日) 「奄美群島復帰70周年記念」第41回保小中合同運動会
- 9/11 (月) 振替休日
- 9/18 (月) 敬老の日
- 9/22 (金) 環境保護活動
(14:00~図書室 他)
- 9/23 (土) 秋分の日